

道徳科

第3学年

尾道市立向島中学校

指導者 黒飛 和葉
平原 広治
占部 大輔単
元
名

塩むすび

～ともに生きる社会の実現～

本校の育成する資質・能力

コミュニケーション力

主体性

- 1 日時 令和3年11月5日(金) 14:00～14:50
- 2 学年・学級 3年 組 (男子20名 女子17名 計37名)
- 3 場所 3年 組教室
- 4 教材について

(1) 主題観 周りへの感謝 内容項目 (B 思いやり・感謝)

本主題は、学習指導要領「特別の教科 道徳」内容項目B(6)思いやり・感謝を基に設定したものである。感謝の心は、他者から受けた思いやりに対する人間としての心の在り方であり、人間は、互いに助け合い、協力し合って生きている。その関係を根底で支えているのは、互いの感謝の心である。東日本大震災の経験をとおして、子どもたちは生命の尊厳、人々の助け合いなど、さまざまなことを感じ、学んできた。震災からの復興は長い年月を要するものであり、現在も進行中である。避難所の生活で支援される側から支援する側になり、初めて周囲の人々の努力や気遣いに気づいていく「私」の心の成長から、集団の中での感謝の心、食事をいただくという自然の恵みへの感謝、人のために尽くす心の充実感について考えさせる。

(2) 生徒観 (調査結果等から見る課題)

本学年の生徒は、優しい生徒が多く、困っている友人に声をかけ支え合って生活している場面が多くみられる。今年度実施した全国学力定着状況調査の質問紙の「人の役に立つ人間になりたいと思う」に対し96.3%の生徒が肯定的な回答をしている。(全国平均95.0%)

中学3年生の時期は、日々の生活の中で自己を支えてくれている多くの人の善意や支えに気づく一方、家族など日常的に接している人々に対し、ありがたいと思いつつうとましく感じてしまい、感謝の気持ちを素直に伝えることが難しい生徒も多い。

(3) 指導観 (指導改善のポイント)

東日本大震災から2か月間、体育館で避難生活を続ける主人公「私」は、母に食事係を手伝うように言われ、ふてくされる。早朝、避難者のために、「私」はおばさんたちと一緒に炊きたてのご飯で塩むすびを握った。これらの経験から、今まで気づかなかった他者との関わりの深さや温かさを知り、周りの人々に支えられて今日の自分があることに感謝の念を抱く、「私」の心の変容が、本教材には描かれている。

厳しい境遇の中でも前向きに生きる人々の姿や、困難に向かっていく態度にも共感できる教材である。

ふだん、あたりまえのようにしてもらっていることの中にも、感謝の気持ちを表すべきことはたくさんあることについて考えさせる機会としたい。

本時の学習

(1) 本時の目標

家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や自分があることに感謝し，進んで周囲の思いに応えようとする態度を育てる。

(2) 準備物 教科書，ノート，タブレット，パソコン，テレビ

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇)	評価規準 (評価方法)
<p>1 課題意識をもつ。 東日本大震災の写真を見て感想をいう。</p> <p>2 教材「塩むすび」の範読</p> <p>3 発問1 私が塩むすびのアイデアに素直に賛成できなかったのは，どうしてだろうか？</p>	<p>◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て</p> <p>◇未曾有の災害であったことを再確認して授業参加への意欲を高める。</p> <p>◆場面の読み取りが難しい場合は，個別に声かけをして考えやすいよう支援する。</p>	<p>○行動観察</p>
<p><予想される生徒の答え></p> <p>・めんどくさい ・自分達も大変な時なのに無理 など</p>		
<p>4 発問2 食事係で新しい世界を知ったという私はどのようなことを考えたのだろうか？</p>	<p>◇文章からの抜き出しではなく，自分の言葉で語らせた。</p>	<p>○ノート</p>
<p><予想される生徒の答え></p> <p>・人のために動ける人間になりたい ・困難から逃げない生き方をしたい など</p>		

<p>5 意見の交流</p> <p>今回の教材や今までの自分の経験を通じて「あなた」の心の中にある感謝の心を交流する。</p>	<p>◇付箋を用いてサンキューカードを記入し交換する。</p>	<p>○発表 ○行動観察</p>
<p>めあてを達成されたと思える生徒の姿（ゴールイメージ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サンキューカードを主体的に記入し、交換しようとしている。 ・ 参観に来られた保護者の方にサンキューカードを渡すことができる。 		
<p>7 本時の学習の振り返り。 ノートに感想を書く</p>	<p>◇時間があるようなら全体で交流する。</p>	<p>○ノート</p>